

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 6 月 16 日現在

機関番号：13101

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2012～2016

課題番号：24520342

研究課題名(和文)『百科全書』本文生成研究：「黙示的典拠」の解明と解釈

研究課題名(英文)Genesis Encyclopedie Study : Interpretation of implicit sources

研究代表者

逸見 竜生 (Hemmi, Tatsuo)

新潟大学・人文社会・教育科学系・教授

研究者番号：60251782

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,900,000円

研究成果の概要(和文)：黙示的典拠に着目して『百科全書』初期巻における本文生成研究をおこなった。研究対象として特に取りあげたのは、ディドロによる同時代の医学書を中心とする学術的典拠の利用実態である。研究期間を通じて500箇所以上の典拠利用実態をあらたに確定し、『百科全書』本文読解における生成研究の重要な学術的意義を実証した。

研究成果の概要(英文)：In this research, we conducted a long-term exhaustive genesis study program on Diderot - D'Alembert's Encyclopedie Paris Edition and compared especially our Dictionary texts with contemporary academic documents. We confirmed finally more than 500 new borrowings texts that had been unrecognized. The Genesis Studies shows identifying implicit sources is the critical factors to the academic close reading of the Encyclopedie.

研究分野：フランス文学

キーワード：『百科全書』 啓蒙思想 ディドロ

1. 研究開始当初の背景

(1) 研究代表者はこれまで日本では初めて『百科全書』本文に関する文献学的調査を行い、長く未解明であったその全体像把握のための方法論的基盤の構築と、本文生成にわたる間テキスト性の実像の実証的方法に基づく解明を試みてきた。

(2) これらの研究の成果は、一方で研究代表者の進めてきた比較照合法による典拠確定方法の十分な有効性を提示しえたものの、しかし、他方で『百科全書』典拠研究の問題の複雑さをも強く示唆するものであった。実際、典拠には見かけ上の「明示的典拠」と区別される、隠された「黙示的な典拠」の水準が少なからずあり、分析に際してはこれを独立したカテゴリーとして立て、固有の解読方法によってより精細に調査されるべきであることが解明されたのである。

2. 研究の目的

『百科全書』本文研究は近年進み、その実態は少しずつ明らかになりつつあるが、未解明のまま残された部分は多い。本研究の主たる目的は、特にその中でも材源研究に焦点を定め、本文内で明示化されていない「黙示的典拠」の特定とその解釈を系統的かつ包括的に行うことにある。具体的には、ディドロおよびジョクールの執筆項目を取り上げ、材源に対する執筆者の引用手法や意図を比較し解析していくことにより、『百科全書』本文の生成過程の多様性を総合的に記述しようとするものである。

研究代表者はこれまで日本では初めて『百科全書』本文に関する文献学的調査を行い、長く未解明であったその全体像把握のための方法論的基盤の構築と、本文生成に関わる間テキスト性の実像の実証的方法に基づく解明を試みてきた。具体的には、1)1996年にディドロ執筆項目における『パリ王立科学アカデミー提要と報告』典拠事例とそのディドロによる借用の方法の発見

(逸見、1996) 2)2004-2006年の慶応義塾大学文部科学省受託研究にて、慶応義塾所蔵『百科全書』パリ版のデジタル化に伴う文献学的研究と本文生成に関わる共同研究代表として実施した、慶應および名古屋大の『百科全書』刊本の正異本調査、およびその方法論的サーベイの報告、また 3)実際に底本として慶応義塾大学所蔵版を利用した、本文項目生成研究の具体例の調査等である。4)更に、共同研究の場として百科全書研究会を中心組織者のひとりとして立ちあげ、国内外の研究グループとともに『百科全書』本文生成研究を進め、その学術的意義と射程を発信してきた。

これらの研究の成果は、一方で研究代表者の進めてきた比較照合法による典拠確定方法の十分な有効性を提示しえたものの、しかし、他方で『百科全書』典拠研究の問題の複雑さをも強く示唆するものであった。実際、典拠には見かけ上の「明示的典拠」と区別される、隠された「黙示的な典拠」の水準が少なからずあり、分析に際してはこれを独立したカテゴリーとして立て、固有の解読方法によってより精細に調査されるべきであることが、解明されたからである。しかもその材源はフランス国内に留まらぬ拡がりをもった。この検討が本研究における課題となる。

3. 研究の方法

本研究の方法は以下の3点である。

(1)比較照合法による黙示的典拠の特定：医学・生理学および関連分野に分類される『百科全書』項目について、ディドロ執筆項目を解析し i)具体的にいかなる黙示的テキストが材源として用いられているか、ii)その範囲はどの程度に及ぶか、iii)材源の選択に執筆者ごとの差異は見られるかについて、同時代コーパスの比較照合法によって特定した。

(2)本文における材源の転用様態の解明：黙

示的典拠はいかにテキスト本文のうちに組み込まれているのか、それぞれの引用者による原テキストの「転用」(appropriation)の具体的様態の比較分析を行う。

(3) 転用の行為ないし意図の歴史的解釈：、
ディドロはなぜこのような行為を行ったか、
検閲、剽窃、個人的資質といった従来の解釈の地平を超えて、その転用行為の「発語内的力」に注目し、その行為、意図を解釈する。

4. 研究成果

本研究は、『百科全書』研究における研究基盤となる本文校訂をその中核としてきた。本文研究は近年進み、その実態は少しずつ明らかになりつつあるが、未解明のまま残された部分は多い。本研究の主たる目的は、特にその中でも材源研究に焦点を定め、本文内で明示化されていない「黙示的典拠」の特定とその解釈を系統的かつ包括的に行うことにあった。具体的には、ディドロの執筆項目を取りあげ、材源に対する執筆者の引用手法や意図を比較し解析していくことにより『百科全書』本文の生成過程の多様性を総合的に記述しようとするものであった。研究期間に、代表者は、『百科全書』本文項目の典拠研究を世界に先駆けて開始することにより、先行文献群の組織的な本文への取り込みの様態を実証し、これまでの調査で解明されていなかった、大規模な未知の資料群の層を初めて発見した。これらの資料群と本文項目を照合させ、両者の相関性の特徴を解明したのである。その成果は、2017年に刊行した *Tatsuo HEMMI, Lecture critiques de Diderot et de l'Encyclopédie. Genèse, Dynamique et Contexte*, NUUS, Niigata, 2016. [235p.] を始め国内外の国際シンポジウム、学術書・学術誌において発表・刊行された。また国際ディドロ学会、フランス18世紀学会等の紀要における「18世紀学研究の今日の総括

と展望」特集などに代表的研究として紹介され(2014)、またフランスを代表する学術文庫シリーズで刊行された『ディドロ百科全書本文選集』(ガリマール社 Folio Classique, 2015)にも、代表者の研究は引用された。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計7件)

1. 逸見龍生「『百科全書』における政治的徳の言語——国民の記憶の受容とその再解釈について」 *WASEDA RILAS JOURNAL* (早稲田大学総合人文科学研究センター) 3、2015年10月、255-262 (招待論文)
2. 逸見龍生「意志論の神学・政治的布置——ディドロ執筆項目「政治的権威」におけるパウロ解釈」、『百科全書』・啓蒙研究』3号、2015年3月、(査読有り) p.105-134.
3. 逸見龍生「時間・知識・経験——初期ディドロ思想の形成におけるペーコン主義医学史の位置——」『思想』(岩波書店), 1076, 2013年12月号, p.158-186. 招待論文
4. Tatsuo HEMMI, Alexandre Guilbaud et al. : « Entrer dans la forteresse » : pour une édition numérique collaborative et critique de l'Encyclopédie (projet ENCCRE), *Recherches sur Diderot et l'Encyclopédie*, 48, 2013, p. 225-261. (共著、逸見ほか8名、査読有り)
5. 逸見龍生「形而上学の時間と哲学の時間——『百科全書』ディドロ執筆項目「靈魂」の生成論的解釈学の試み」『日仏哲学研究』第18号、2013年9月、p.16-30. 招待論文
6. Tatsuo HEMMI, « Le temps métaphysique et le temps

philosophique — à propos du supplément éditorial de l'article AME », *Recueil d'études sur l'Encyclopédie et les Lumières*, 2, mars 2013, p.41-56. (査読有り)

7. Tatsuo HEMMI, «*Les références implicites dans le supplément éditorial de l'article AME de Diderot*», *Recueil d'études sur l'Encyclopédie et les Lumières**, 1, mars 2012, p.41-61. (査読有り)

[学会発表](計28件)

1. 逸見龍生「中川久定氏におけるキリスト教護教論研究の意義とその射程」人文研アカデミー国際ワークショップ「中川文庫」開設記念『東アジアで18世紀研究者であること——Hisayasu Nakagawa, *L'Esprit des Lumières en France et au Japon をめぐって*』, 2016年11月12日土曜日、14時00分-19時00分、京都大学人文科学研究所本館1Fセミナー室1、招待講演
2. Tatsuo HEMMI, «Temporalité et Prudence. Diderot lecteur de l'HARS et de James», *Colloque international, L'Encyclopédie et l'Histoire de l'Académie Royale des sciences de Paris (organisé par Maria Susana Seguin et François Pépin)*, ENS de Lyon, 22-23 mars 2016. 招待講演、シンポジウム組織者
3. 逸見龍生「18世紀江戸期における注釈の伝統」, リヨン第3大学言語学部日本文化研究科、2016年3月16日。招待講演
4. Tatsuo HEMMI, «Omnis potestas a Deo ordinata est : interprétation d'une péricope de Saint Paul dans l'autorité politique de l'Encyclopédie », *Séminaire d'histoire des idées.*

Méthodes, enjeux, études de cas, Le séminaire SHI est co-organisé par les laboratoires Triangle (UMR 5206) et IHRIM (UMR 5317), à l'ENS de Lyon dans le cadre du LabEx Comod., 3 mars 2016. 招待講演

5. 逸見龍生「デイドロ思想形成史解釈における啓蒙概念の転位」『*百科全書*』・啓蒙研究会・公共知研究会共同開催研究会、2015年12月19日、名古屋大学経済学部、招待講演
6. Tatsuo HEMMI, «De la socialisation du livre à la socialisation de la lecture», Table ronde «De l'usage et de l'abus des humanités numériques» (Présidente : Ourida Mostefai), *Semaine de travail à Luminy (5-9 octobre 2015), Edition Numérique Collaborative et CRitique de l'Encyclopédie*, le 8 septembre 2015, マルセイユ大学 CIRM マルセイユ大学 (フランス) 招待講演
7. Tatsuo HEMMI, «Addition éditoriale de Diderot à l'article AME de l'abbé Yvon », *Semaine de travail à Luminy (5-9 octobre 2015), Edition Numérique Collaborative et CRitique de l'Encyclopédie*, le 6 septembre 2015, マルセイユ大学 CIRM マルセイユ大学 (フランス) 招待講演
8. Tatsuo HEMMI, «Philosophie et médecine : Diderot, traducteur du *Dictionnaire universel de médecine* de Robert James », *XIVème Congrès de la Société Internationale d'Étude du XVIIIème siècle (SIEDS)*, le 30 juillet 2015, Rotterdam University (Netherland) (第14回国際18世紀学会・国際シンポジウム"Etats actuels des recherches dix-huitiémistes dans

- l'Asie de l'Est" 2015年7月30日・ロ
ッテルダム大学(オランダ)組織者
9. 逸見龍生「デイドロ初期思想研究の意義と展望—近代主義パラダイムを超えて—」平成27年度春季日本フランス語フランス文学会全国大会・フランス18世紀研究会、2015年5月30日・明治学院大学、招待講演
 10. Tatsuo HEMMI, « l'article AME : HMARS, James et le dictionnaire de Trévoux », *Journées d'Études autour de l'Encyclopédie et de des Académies*, Les 23-24 février 2015, Organisé par GEEL (Groupe d'Études sur l'Encyclopédie et les Lumières) et François Pépin (CERPHI, Institution d'Histoire de la Pensée Classique, ANR Anthropos, ENS de Lyon), Co-organisé par Conseil de recherches en sciences humaines du Canada、基調報告
 11. Tatsuo HEMMI (Université de Niigata), « _Omnis potestas a Deo ordinata est_ : interprétation d'une péricope de Saint Paul dans l'AUTORITÉ POLITIQUE de l'Encyclopédie », 国際シンポジウム「『百科全書』における哲学」2015年2月21日(土)・22日(日)広島大学東京キャンパス(CIC)、主催:『百科全書』・啓蒙研究会、フランソワ・ペパン(CERPHI, Institution d'Histoire de la Pensée Classique, ANR Anthropos, ENS de Lyon), Conseil de recherches en sciences humaines du Canada, À CIC Tokyo, Hiroshima University's Tokyo Office、基調報告
 12. 逸見龍生「哲学者と人文主義者—フランス18世紀『百科全書』におけるヒストリア の概念、早稲田大学、2014年12月6日、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業キックオフ・シンポジウム「新しい人文学の地平を求めて - ヨーロッパの学知と東アジアの人文学 -」、招待講演
 13. 逸見龍生「文人たちの結社」2014年12月6日、学習院女子大学、ルネサンス研究会、招待講演
 14. 逸見龍生「意志論の神学・政治論的布置—『百科全書』デイドロ執筆項目「政治的権威」におけるパウロ解釈」(3)2014年10月11日、関西フランス史研究会、京都大学
 15. 逸見龍生「意志論の神学・政治論的布置—『百科全書』デイドロ執筆項目「政治的権威」におけるパウロ解釈」(2)2014年9月20日、『百科全書』・啓蒙研究会、慶應義塾大学
 16. 逸見龍生「意志論の神学・政治論的布置—『百科全書』デイドロ執筆項目「政治的権威」におけるパウロ解釈」2014年3月16日、立教大学シンポジウム「来たるべき一般意志」、招待講演
 17. Tatsuo HEMMI(Université de Niigata), « Temporalité et savoirs chez Diderot - essai d'une herméneutique génétique de l'Encyclopédie », *Écriture passionnée, Le colloque annuel d'hiver 2013 Société coréenne de langue et littérature françaises (SCLLF)*, « Écriture dans son temps - à l'occasion du tricentenaire de la naissance de Diderot (1713) et du centenaire de la naissance de Camus (1913) », Samedi 14 décembre 2013, Université Hankuk des études étrangères, Séoul, 招待講演
 18. Tatsuo HEMMI (Université de Niigata), "Politique et Langage dans

- l'Encyclopédie", 2013年12月13日、ソウル大学、招待学術セミナー
19. Tatsuo HEMMI(Université de Niigata), "Les savoirs et la temporalité chez Diderot", *Colloque international Diderot et le temps*, 14-15 novembre 2013, Université Aix-en-Provence, 招待講演。
20. Tatsuo HEMMI (Université de Niigata), « La formation médicale de Diderot : Daniel Le Clerc », « *Manufacture de l'Encyclopédie* » de la Société Diderot, organisé par Marie Leca-Tsiomis (CSLF, Paris Ouest-Nanterre) et Irène Passeron (SYRTE, CNRS), le 9 novembre 2013. 2013年11月9日 招待講演
21. Tatsuo HEMMI (Université de Niigata), "Diderot et histoire de la médecine, dans sa formation philosophique expérimentale : de Bacon à Daniel Le clerc", *Colloque L'anthropologie matérialiste de Diderot et les sciences*, 15-16 octobre 2013, Museum National d'Histoire Naturelle, amphithéâtre Rouelle. 招待講演
22. 逸見龍生「『百科全書』の言語と政治」韓・日本十八世紀学会共同学会国際シンポジウム「知識の生産・集積・交流」2013年5月10日～13日、ソウル大学シンヤン館、主催：韓国十八世紀学会、後援：ソウル大学人文学研究院、招待講演
23. Tatsuo HEMMI, "Le temps métaphysique et le temps philosophique — Essai de l'hérménutique générique sur le supplément éditorial de l'article AME", *Chantiers des Lumières*, *L'Encyclopédie à l'âge de la numérisation*, 28-29 mars 2013, Université Paris Denis Diderot、招待講演
24. 逸見龍生「『百科全書』の生成論的解釈学の試み」中央大学人文科学研究所 公開研究会「『百科全書』の生成論的解釈学の試み」(2012年1月16日、中央大学)、招待講演
25. 逸見龍生「形而上学の時間と哲学の時間——『百科全書』の一項目に関する生成論的解釈学の試み」日本フランス語フランス文学会東北支部大会・特別シンポジウム「ルソー、ディドロ生誕300年にあたって」2012年11月3日(土) 岩手大学・岩手県立大学共同主催、招待講演
26. Tatsuo HEMMI, "Le temps métaphysique et le temps philosophique — à propos du supplément éditorial de l'article AME de Diderot"日仏啓蒙・『百科全書』研究集会 2012年9月29日(土)・慶應義塾大学、招待講演
27. 以下略
〔図書〕(計1件)
Tatsuo HEMMI, *Lecture critiques de Diderot et de l'Encyclopédie. Genèse, Dynamique et Contexte*, NUUS, Niigata, 2016. [235p.]
6. 研究組織
(1)研究代表者
逸見 龍生 (Tatsuo HEMMI)
新潟大学・人文社会・教育科学系・教授
研究者番号：
60251782